

事業実績書

事業名	ガイド力のレベルUP、情報発信力のUP 市民向けのガイド、ウォークの積極的実施（高齢者、小中学校生向け）
場所	沼津市内 各所
期間	平成29年7月1日 ～ 平成30年3月31日
日程	実施項目・作業項目
事業内容	<p>1. ガイド力のレベルUP。（聞き易く。解り易いガイド）</p> <p>(1) 携帯マイク付スピーカーの導入 3セット導入 各種イベント時、ガイド時に使用開始。 大人数でも聞き易くなったと好評</p> <p>(2) ガイドの知識向上、ガイド技術向上、スキルUPのための勉強会 定例会時のステップUP講座の開催 6回開催 外部講師による、沼津の話題、歴史、文化について学ぶことができた</p> <p>(3) 班別研修 5回実施（5班各1回） ガイド先進地域より、運営方法、考え方について学ぶことができた</p> <p>(4) 外国語の勉強会（英語） 2回実施 簡単な挨拶、会話の勉強で、窓口対応が良くなった</p> <p>(5) 英語版御用邸記念公園の案内資料の作成 3月完成（200部）。 活用方法は、市関連課、御用邸と活用方法の調整し、具体的に活用していく</p> <p>2. ホームページでのガイド力UP イベント情報、活動内容の情報を積極的に発信した。英語対応はできなかった</p> <p>3. 沼津市の各種施策との連携、協力し、ガイド活動をおこなう</p> <p>(1) 高齢者向けの健康維持促進のためのウォーク中心のガイド 長寿福祉課 6回 生涯学習課 2回 参加者より、沼津の事を知る事ができ、良かったと好評であった。 次の企画にも、参加したいとの声も多くあった</p> <p>(2) 小中学校生向けの社会見学、防災施設見学の案内（沼津魚市場、びゅうお） 19の小学生の案内実施、 4の幼稚園の案内実施 <u>課題 セリの時間外の見学であり、タブレット等の活用で、実際のセリの様子を案内したい</u></p> <p>(3) 外国人向けガイドへの対処方法 市担当課との連携で、香貫山、びゅうおでの外国人向けガイド実施 <u>課題 英語版御用邸案内資料の活用を含め、これから増加が予想される外国語の案内体制を模索していきたい</u></p> <p>(4) イベント参加者にカンパッチを配布し、参加者の把握と安全確保を行なう 6のイベントで、カンパッチ作成 イベント実施地の長所を表わした図柄のカンパッチを作成 参加者の把握と安全確保がしやすくなった</p> <p><u>具体的活動状況は、別添に活動状況一覧表、活動状況写真を添付します。</u></p>

事業効果	<p>①携帯マイク付スピーカーの導入し、御用邸、びゅうおでのガイドの時。自主イベントのガイドの特に使用しています。一度に大勢にガイドする時にも、聞き易くなったと、好評です。沼津ゆかりの子守唄、さんさん沼津等の歌も紹介しながら、イベントを楽しく案内できるようになった。</p> <p>②イベントの時にカンバッチの作成配布を始めました。 参加者に発信したい事をはっきり決め、企画内容を創るようになった。そこで何を発信したいかを明確に決め、カンバッチの図柄であらわして、製作しています。イベント参加者にも好評であった。</p> <p>③御用邸の英語版案内資料は、増加が見込まれる外国人観光客対応の一環として、作成しました。作成にあたり、沼津市担当課（観光戦略課、緑地公園課）そして御用邸とも、打合せして作製にこぎつけました。 これから、英語版の案内資料を本格的に活用する方法を確立し、英語でのガイド活動を行なっていきたい。</p>
今後の活動予定	<p>もっとも重要な、御用邸、びゅうおの、観光客向けガイドについては、その施設歴史。文化についてのガイド（案内）の質的内容の充実とともに、沼津についての情報の発進を行なっていきたい。</p> <p>御用邸の英語版案内資料の作成を機会に、御用邸はもちろん、沼津への外国人観光客へのガイド体制をつくるために、市の各担当部局を相談していきたい、説明資料については、御用邸案内資料の日本語版も作りたい。</p> <p>小学校生に行なう、魚市場セリ見学、びゅうおの案内について、タブレットの活用等で、内容を充実させていくことと、学校の先生と、どんなガイドが必要かを相談・打合せして、よりよいガイド（案内）を創っていきたい。</p>
自己評価	<p>市民向けガイドは、小学生向けの魚市場、びゅうおの案内も、多くの学校、生徒に行なうことができた。高齢者対象の長寿福祉課、生涯学習課（万年青大学）のワークも、企画から打合せし、行なうことができた。</p> <p>ファンド対象事業を行なうということで、活動内容に、沼津をより良く発信していくために、どうしたらとの意識が強くなった。活動が前向きになった。</p>